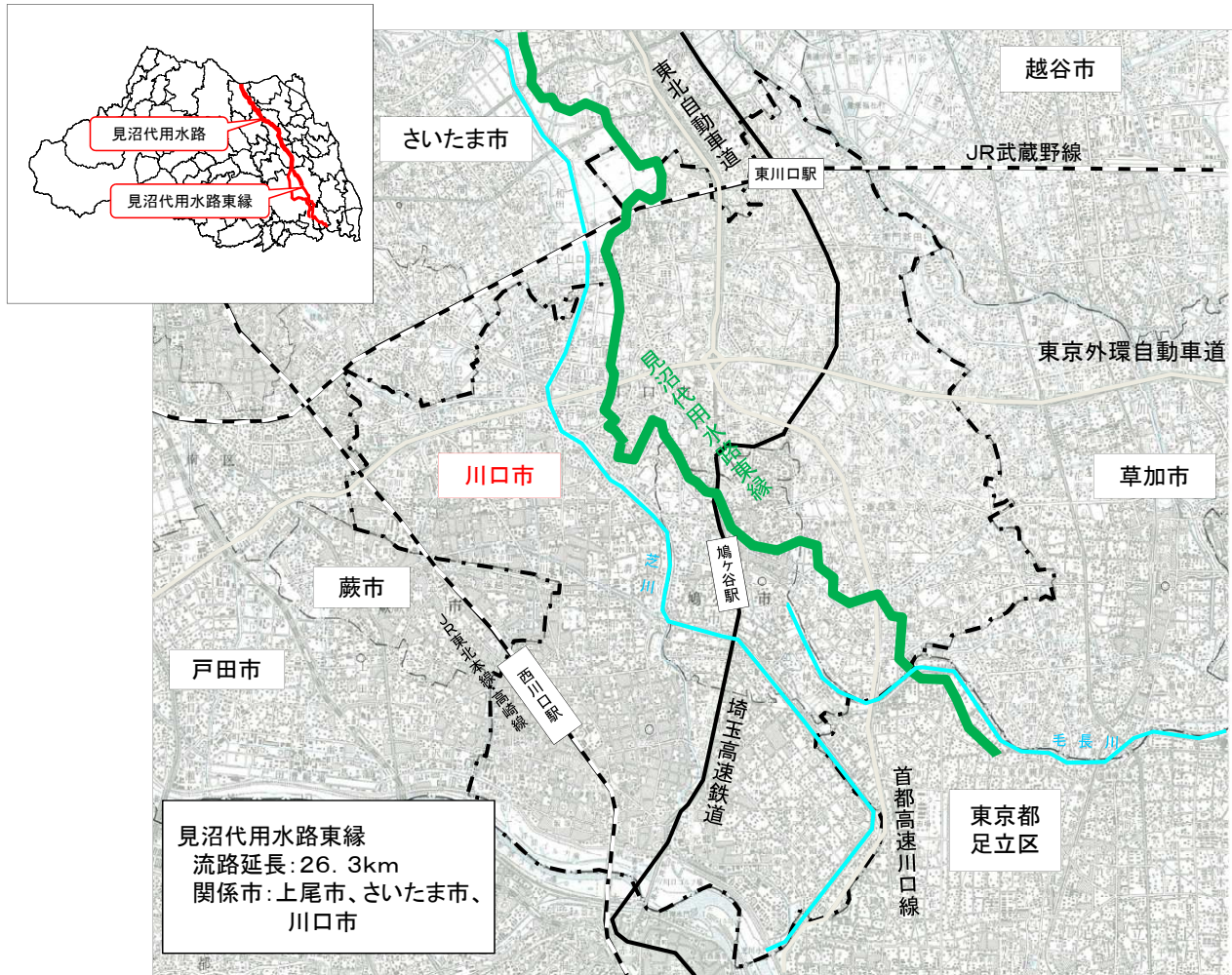


見沼代用水路東縁の概要



川の再生まるごとプロジェクト

様式-2

テーマ
～水辺にうるおい・癒しの空間を創出する遊歩道整備～

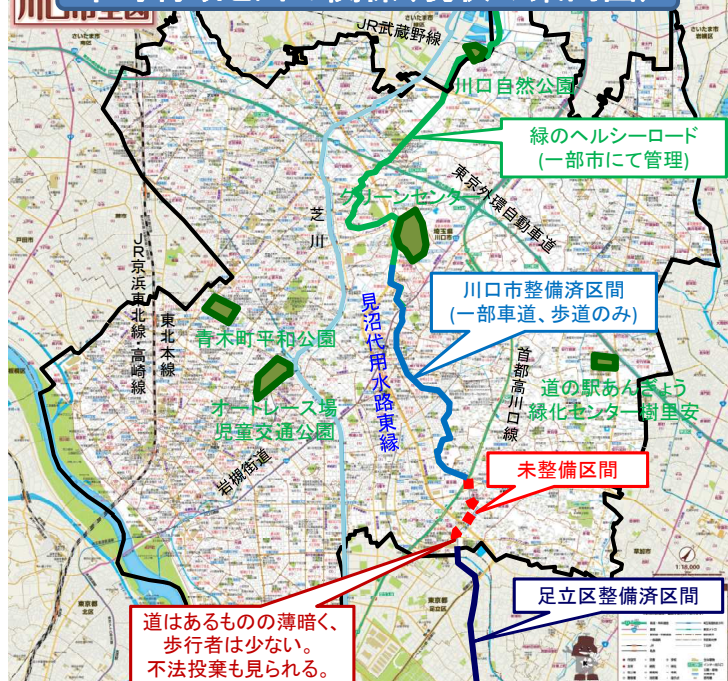
見沼代用水路東縁

川口市

川口市は、その名が示すとおり、見沼代用水路の開削による舟運・陸上交通の整備とともに商品流通が発達し、今日の礎となる鑄物・植木産業等が興りました。現在でも、植木産業で栄える安行地区一帯には緑豊かな空間が残り、自然や歴史、魅力に触れながら歩く「美しい日本の歩きたくなる道500選」に安行の道が選ばれています。

また、見沼代用水路東縁沿いの遊歩道は、水路沿いの緑が人々の目を楽しませ、地域住民の散策路として利用されています。しかし、遊歩道は東京都側も整備されている一方で、隣接する川口市内の一部が未整備であり、広域的な利用が妨げられているとともに、不法投棄などにより歩行者が利用を敬遠してしまっている状況です。

市町村域と川の関係(現状の案内図)



川の現状

- 見沼代用水路東縁延長約10km(川口市内)
(整備延長約1.2km)
- 用水路の特徴
 - ・水路沿いには川口自然公園やグリーンセンター等の自然に親しむ施設が整備されている。
 - ・日本三大農業用水で、疎水百選にも選ばれている。
 - ・遊歩道は上流部が緑のヘルシーロードとして整備され、下流部は市事業で整備されている。
 - ・桜並木は水辺の癒し空間となっている。

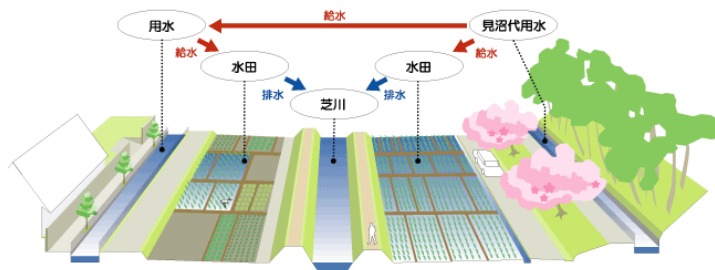
まちづくり等の課題

- 水路沿いの遊歩道は既存の遊歩道があるものの、未整備区間があるため広く活用されていない。
- 未整備区間は小学校の通学路にもなっており、歩行者の安全な歩行空間が確保されていない。
- 既設の遊歩道から町会会館・公園への歩行ルートが確保できていない。

水辺にうるおい・癒しの空間を創出する遊歩道整備

川口市に残る豊かな自然や見沼代用水路等の歴史ある施設を多くの市民に知っていたき有効に活用するために、見沼代用水路東縁遊歩道の未整備区間について、地域住民がその水辺に改めて親しみをもち、安らぎを感じることができるよう、既存の水路と桜を活かした遊歩道の整備を行い、地域の活性化を図ります。

まちづくりと川の関係(イメージ図)



(見沼田んぼHPより)

見沼代用水は、利根川から取水し、綾瀬川を越えた直後に台地の縁に沿って東西2本に分流しており、東縁は東側の台地に沿って掘削された水路です。過去に川口市内にあった水田は、この水路から取水し、芝川に排水することで開発されました。

近年では市内に水田は少なくなりましたが、見沼代用水路、芝川の水辺には遊歩道が整備され、水と緑に親しむ空間として地域住民に親しまれています。

現状と課題への対応

- 既存の遊歩道及び地域の美化活動を活かすため、未整備区間の遊歩道整備を推進する。
- 遊歩道整備により既存施設へのアクセスを高めるとともに、歩道と車道を明確にし、安全な歩行空間を確保する。

目標・テーマ

- (癒しの空間の創出)
 - ・地域住民が利用する遊歩道を、見沼代用水路上流から下流まで整備し、水辺に親しむ癒しの空間の創出を実現する。
- (歩行者の安全の確保)
 - ・遊歩道と車道を境界ブロック、ガードパイプにて分離し、安全な通学路・歩行空間を確保する。
- (地域活性化)
 - ・大規模町会である本蓮町会会館及び公園への徒歩ルートを整備し、地域を活性化する。

川口市内を流れる見沼代用水路東縁は、利根大堰から取水した見沼代用水路が台地の縁に沿って東西2本に分流した水路の一つです。現在、川口市内の農地は少なく農業用水としての利用は減っていますが、地域に潤いを与え、生き物の生息環境を保全する役割を持っています。かつては、冬期は水路が涸れ水質悪化や生物生息環境の悪化等地域環境が悪化した時期がありましたが、現在は冬期通水が開始され、冬場の水質向上、生物生息環境の保全等が図られています。

位置図



水路が涸れた様子



冬期通水時の生き物調査

実施してほしい取組の概要

- ソフト**
- ・冬期通水の継続
 - ・河川管理者、関係者への働きかけと調整

工程表

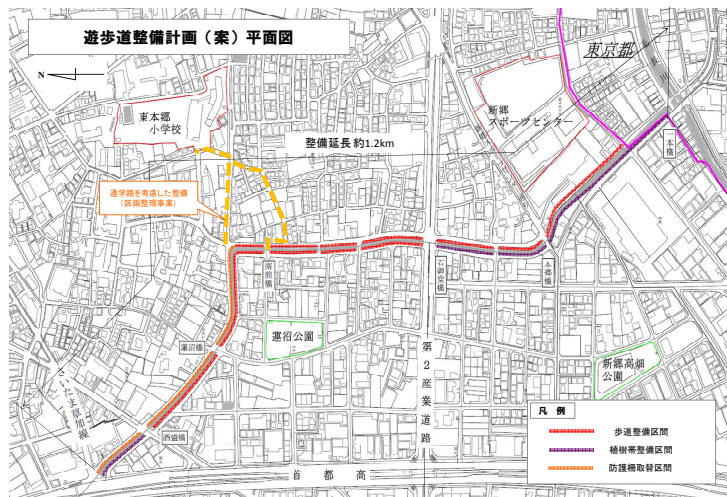
	H25	H26	H27
冬期通水	●	●	●

市町村が取組む事業等の概要(川口市)

本事業で市が取り組む内容は、水路沿いの遊歩道の整備及び、その整備した遊歩道を将来的に活かすための周辺施設の整備です。

さいたま市～足立区にわたって整備されている見沼代用水路東縁沿いの遊歩道が、川口市内において一部未整備であることから、これを接続すべく、連続した遊歩道整備を行います。現状草むらとなっている箇所を歩道として整備し、植樹帯の設置及びデザイン性のある防護柵の設置を行うことで、水辺に親しむ歩行空間を創出します。

位置図



越谷市葛西用水の整備例



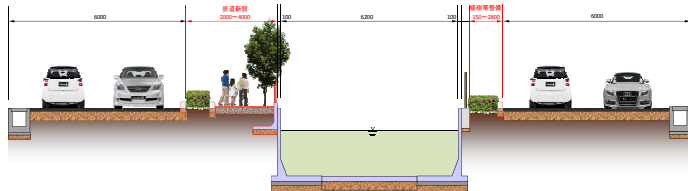
歩道のない通学路の現況

事業等の概要

- ハード**
- 安全に水辺に親しむ空間を創出するため、上流から下流まで歩けるよう、連続した遊歩道を整備する。
 - 区画整理事業にて用水沿いに接続する道路の拡幅、歩道整備等を将来的に行うことにより、東本郷小学校への安全な通学路を確保する。
 - 下水道事業にて下水道施設の整備を推進することにより、用水の水質向上を図る。
 - 公園課にて本事業で設置した植樹や植栽について、維持管理及びその指導・支援を行う。
- ソフト**

工程表

	H25	H26	H27
遊歩道整備	■	■	■
区画整理・下水道事業等の推進	■	■	■
植栽維持管理等	■	■	■



植樹帯の樹木・草花の維持管理は、「地域主体での維持管理」という観点から、地域住民が主体となり、市と連携して実施します。

具体的な維持管理の内容や役割などは、地域の町会とともに検討し決定します。
また、持続的・自立的な維持管理を定着させるため、定期的な会合を実施します。

維持管理の概要

■維持管理の対象

遊歩道、植栽(高木含)、草花

■維持管理の実施主体

新郷見沼用水を考える会、町会、学校、PTA、市

■維持管理の内容と想定される役割分担

草刈、ごみ拾い、清掃・・・実施主体

維持管理活動の補助・・・川口市

用水の管理・・・見沼代用水土地改良区

■役割分担の検討方法

町会、支援団体と定期的な会合を実施し、
詳細な整備内容及び維持管理方法を検討

既存の活動

・新郷地区緑と花いっぱいの会

活動場所: 見沼代用水路東縁(新郷地区)

内容: 水路沿いにプランターの設置、花植えなど

・本蓮町会

活動場所: 見沼代用水路東縁(各支部担当区間)

内容: 草刈、花植えなど

持続的・自立的な維持管理に向けた取組

■水路沿いを地域の憩いの場として再生すべく

地域住民が発足した団体「新郷見沼用水を考える会」にて、遊歩道の利活用に関する検討及び維持管理計画、清掃活動を行います。

■現状本郷橋東にみられる不法投棄を防止するため、適時樹木の剪定を行います。

■遊歩道及び蓮沼公園を利用するイベントの開催時に、事前・事後の清掃活動を行います。

■近隣の市立東本郷小学校にて、授業の一環として遊歩道の一部に花植えや水やりを行い、定期的な維持管理を行います。

維持管理への支援制度

・公園管理作業奉仕団体報償金(川口市)

概要: 奉仕活動として公園・緑地の除草、清掃、施設の点検を行う地域の団体等に対し、報償金を交付することにより、良好な都市環境と健全な街づくりに資することを目的とした制度。

再生した川やまちの利活用に向けた取組

新郷見沼用水を考える会が主体となり、再生した水路やまちを利活用するための計画を町会や市とともに策定します。

また、地域住民に水路やまちにより親しんでもらうため、整備した遊歩道を地元で行われるイベントの催場の一部として使用し、継続的な利活用を図ります。

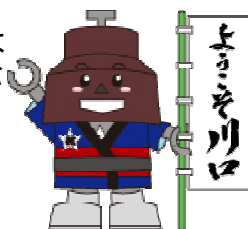
利活用の計画

■見沼代用水路東縁は川口市の中心を縦断するように流れているため、未整備区間をなくすことで、水路沿いの遊歩道から街中への徒歩ルートが確保できるようになり、地域住民にとって市内各所へのアクセス性が高まります。

■現況では未整備区間が東本郷小の通学路となっており、遊歩道を整備することで、安全な歩道(通学路)として活用することができます。

■一部桜の木を残した遊歩道整備を行うことで、既存の桜を安全に鑑賞できるスペースをつくります。

■イベントなどの計画づくりは新郷見沼用水を考える会が中心となり、町会、学校やPTAとともに検討します。



川口市マスコット「きゅぼらん」

利活用の実施

■地域住民が主体となるよう、遊歩道整備区間において、下記の祭事等のイベントを開催します。

・新郷ふれあい祭り

・本蓮町会 盆踊り

・「小さな親切」運動(川口支部)

■地元の本蓮まつりにおける安全な神輿ルートとして活用します。

■児童が安全に自然と親しめる通学路として活用します。

既存のイベント

・桜まつり 青少年まつり

(主催者: 新郷地区連合町会、東本郷商店会)

内容: 花見、屋台、大道芸、芸能フェスティバル
会場: 見沼代用水路東縁遊歩道ほか)

・新郷ふれあい祭り

(主催者: 新郷ふれあい祭実行委員会、

内容: キャラクターショー、クイズ等、会場: 蓮沼公園)

もっとたくさんの人に
見沼代用水路への
関心を持ってもらいたい！



見沼代用水開拓者
井沢弥惣兵衛



新郷ふれあい祭りのようす



桜まつりのようす



用水沿いの桜並木

見沼代用水路東縁沿いの遊歩道
整備により、地域住民が安心して
水辺に親しむ空間を創出します